

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 3 月 19 日(日) 9:30～15:30

気象：天候=晴・微風、終日「暖」

作業エリア：45 林班ろ-04(=谷間)

作業内容：林床整備(伐倒放置木の整理、枝打ち、作業道整備)

活動参加者：斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄 黒山泰弘 杉本佳英 武田壽夫 宮本 廣

計 7 名

<明日は彼岸の中日>

彼岸に入り、ようやく春めいた日が訪れる。終日晴れの暖かい本山寺山だった。登りの途中、神峰山寺までの車道は墓参りの車がすれ違う。本山寺の駐車場に車三台、7人が集合。荷物を積み替え、作業小屋前へは一台が移動。駐車場は「八丁石」付近、作業小屋へは「二丁石」まで登る。

<今日の作業>

引き続き「45 林班ろ-04」の林床整備を行う。伐採後放置木の玉切り・棚積み、枝打ち、などである。残置木は径 30 cm 超の大物が多く、チェーンソーを 2 台持込み、扱いに慣れた斧田、小櫃両氏を中心に玉切り組が 6 人(3 人×2 班)、枝打ち 1 人の 3 班編成で作業する。

<腰痛、肩痛の「後遺症」を気遣いながらの棚積み作業>

いつもながらチェーンソーは有難い。ただ、2～3 m の長さに玉切りした幹は急斜面を数 m 下方に落として棚積みする必要がある。整然(?)とした「林床整備」に仕上げるには切った後の運搬、積み上げの作業が必要で、これは腕力だけが頼り。あとの「腰痛・肩痛」を気遣いながら取り組む。勿論、足下の確保にも要注意、それでも作業は大いに捗り長さ 50m×幅 40m(=0.2ha)のエリアを整備出来た。残る未整備地はあと僅か、格段にスッキリした谷の景色に満足して作業を終える。

なお、帰途、尾根に上がる新ルートを整備。原大橋への里道に出合うトラバース状の作業道だが、太い倒木が邪魔している。これを処理し、併せて通行を妨げる常緑樹数本も除伐。これで谷への往復は格段に楽になりそう。(分岐には安全の為「立入り禁止」の赤テープを巻く)

<一日を振り返って>

整備を進めるにつれ新たな要処理木の存在に気付くのが常だが、それも「山」は越えた感じ。次の作業日で「45 林班ろ-04」の林床整備を終えたいものである。チェーンソーを綺麗に手入れし、今日もご苦労様。

参加希望の方々にお知らせ一件。JR 高槻駅の南口、西側に小さいが美味しいパン屋さんを発見、メロンパン、クロワッサンは絶品。昼食にお奨めの巻寿司「巻ろまん本舗」に併せ帰りの楽しみに如何。

(本文-以上)



当日の参加者 7 名



谷に重なる残置木



大径木の処理はチェーンソーが頼り



等高線に沿いに棚積みする



整備後の景観



高枝切鋸で枝打ち



掛り木の処理



倒木処理→道を開く



谷から登り易く



道に被さる木



立入禁止の赤テープ巻